

延べ約100名の学生が地域行事に参加！！



「地域創生まじゅんプロジェクト成果発表会」 ～関東学院大学横浜・関内キャンパスと中区の連携～



令和5年8月、横浜市と関東学院大学は包括連携協定を締結し、その取組のひとつに、中区役所と連携したプロジェクト（地域創生まじゅんプロジェクト）が掲げられ、学生が1年を通して様々な地域活動に参加し、地域の方々との交流を深めてきました。

地域活動の楽しさや難しさ、活動する人たちの思いなどに直接触れた学生が、地域の課題解決の手掛かりについて提案します。ぜひ、取材にお越しく下さい。

※「まじゅん」：沖縄の方言で「一緒」という意味。

大学が沖縄の地域課題をテーマに実施してきたプロジェクトを中区版として展開。

成果発表会

日時：12月23日（土）13：00～14：50

会場：関東学院大学 横浜・関内キャンパス YK-1004 教室（横浜市中区万代町1-1-1）

内容：「地域創生まじゅんプロジェクト（中区連携プロジェクト）」
に取り組んだ学生による成果発表

活動内容

関東学院大学の学生たちは中区や本牧地区の歴史をテーマとした講義などを受講したうえで、地域の方々との協力のもと6月～11月にかけて地域行事に参加し、地域活動の楽しさや難しさに触れてきました。また、「本牧ハワイアンフェスタ」や中区民祭り「ハローよこはま2023」では、学生たち自らが出展内容を企画し、実施しました。

- 6月 「第4地区南部連合町内会ミニミニ運動会」に参加
- 7～8月 「本牧ライトアッププロジェクト」、「本牧神社例大祭お馬流し」、
「中本牧コミュニティハウス夏まつり」に参加
- 10月 「本牧ハワイアンフェスタ」に参加
- 11月 中区民祭り「ハローよこはま2023」に参加

【6月11日 第4地区南部連合町内会 『ミニミニ運動会』】



大玉はこび



運動会後に行った役員の方々との意見交換の様子

【10月1日 本牧ハワイアンフェスタ】



昔遊びのワークショップ



プロジェクトメンバーの集合写真

【11月12日 中区民祭り『ハローよこはま 2023』】



中区民祭り「ハローよこはま」の様子



ペットボトル工作のワークショップ

「地域創生まじゅんプロジェクト」とは

【目的・効果】

地域では、自治会町内会の加入率や地域活動における若者の参加率低迷などの課題を抱えています。地域課題の解決の手がかりを探るため、
○なぜ地域活動に興味を持ってないのか？ ○どうしたら関心を高められるか？
などについて、地域の方々と学生と一緒に考える場をつくります。

また、地域行事への参加や企画運営に携わる経験を通して、学生が地域について学ぶ機会とします。



【プロジェクトの詳細】

関東学院大学法学部では、地域の課題や歴史文化に基づく社会関係資本（ソーシャルキャピタル）の重要性に着目し、地域の方々と交流を通じて地域活動の活性化に向けた解決策を提案することを目指し、「地域創生まじゅんプロジェクト」に取り組んでいます。

今年4月に横浜・関内キャンパスを開校したことを契機に中区を拠点に本プロジェクトを開始し、今年度は本牧エリアを中心に活動してきました。現在は、1年生から3年生までの20名の法学科と地域創生学科の学生が参加しています。

※社会関係資本：「社会や地域における、人々の信頼関係・結びつき」を意味する概念

| | | |
|----------------|-------|------------------|
| お問合せ先 | | |
| 横浜市中区総務部地域振興課長 | 木村 友之 | TEL：045-224-8130 |
| 関東学院大学 広報課 | 金子 知香 | TEL：045-786-7049 |